

◎リレンザ [外]

【重要度】★ 【一般製剤名】ザナミビル水和物 (U) Zanamivir Hydrate 【分類】抗インフルエンザウイルス剤

【単位】◎5mg/プリスター

【常用量】

■治療：1回10mg (5mg プリスターを2プリスター) を1日2回 5日間

■予防：1回10mg (5mg プリスターを2プリスター) を1日1回 10日間

【用法】専用の吸入器を用いて吸入

可能な限り速やかに投与開始する (発症後 48 時間以内に)

他の吸入薬を併用するときには他剤を先に吸入する

【透析患者への投与方法】常用量 (1,12) (日本透析医学会・日本透析医会：新型インフルエンザ対策合同会議)

【その他の報告】静注時には尿中排泄されるが吸入後の肺局所濃度が効果の指標となるため、腎機能による用量調節は不要 (Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836)

【保存期 CKD 患者への投与方法】AUC は増大するが常用量でよい (1,12)

【その他の報告】静注時には尿中排泄されるが吸入後の肺局所濃度が効果の指標となるため、腎機能による用量調節は不要 (Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836)

静注時の CL は Ccr に正相関 (Weller S, et al: Antimicrob Agents Chemother 2013 PMID: 23587959)

【特徴】A 型、B 型インフルエンザウイルスに有効な吸入抗インフルエンザウイルス剤で、インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼを阻害することによってウイルスの増殖を抑制する。鳥インフルエンザ (H5N1) に対しても *in vitro* で効果が認められている。吸入のため全身への影響が少ない。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー、気管支攣縮、呼吸困難、過敏症、精神神経症状、消化器症状、嘔声、咽喉刺激感、鼻道刺激感、喘鳴、鼻出血、耳鳴、嗅覚障害、発汗、頸部痛、背部痛など

【安全性に関する情報】乳糖過敏症に注意 (1)

因果関係不明もインフルエンザ治療における異常行動 (1)

【F】2% [経口] (1) 経口で 2%、吸入で 10~20% (Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836) 吸入では低い (12) 吸入量の 4~17% が全身に吸収される (U)

【tmax】吸入 1~2hr (Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836) 1.6hr (1)

【代謝】代謝されない (Cass LM et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836)

【排泄】尿中未変化体排泄率約 90% (12, Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836) 8.2~15.2% [24hr まで] (1) 吸収 (20%以下) された薬の 90% が尿中排泄 (Karie S, et al: Nephrol Dial Transplant 2006 PMID: 16799172)

【CL】2.5~10.9L/hr (U) 5L/hr (1)

【t1/2】静注約 2hr, 吸入 2.5~5.5hr (12, Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836) 2.8hr (1) 2.5~5.1hr (U) 腎不全で 4.7~18.5hr (12)

【蛋白結合率】10%未満 (12,U) 14%以下 (1)

【Vd】16L/man (1) 0.2L/kg (12)

【MW】332.3

【透析性】データはないが、透析されやすいと思われる (5)

【TDM のポイント】IC50 は A 型 0.3~4.6nM

【O/W 係数】両性イオンとして存在する (1)

【相互作用】代謝されないため重要な薬物間相互作用の可能性は非常に低い (Cass LM, et al: Clin Pharmacokinet 1999 PMID: 10429836)

【主な臨床報告】1日1回10mg 吸入することによってインフルエンザの感染を 67~74% 予防できる (McNicholl IR, et al: Ann Pharmacother 35:57-70, 2001)

【更新日】20241012

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。